山内村まるごと生活博物館事業実績報告

期間：平成 24 年 7 月 20 日～7 月 23 日

事業内容

平成２４年７月２０日（金曜日）

20：40

沖縄糸満市米須あすなろ会、貴生川駅到着（森、山下、井阪、竜王が出迎える）

森、山下の自家用車にて山内まで送迎、２１：１０　山内公民館前到着

女子３人は、林広美さん宅へ、男子は野尻悟司さん宅へ民泊。

あすなろ会大人は、ダイヤモンドホテルに泊のために、ダイヤモンドホテルへ送迎。

夕食をしながら、打ち合わせを行う。

糸満市のオブザーバー崎山氏は、先にダイヤモンド滋賀へ到着していたので、合流する。

平成２４年７月２１日（土曜日）　曇り　時どき雨

8:30 糸満メンバーのみ、化石地域散策。

貝の化石の散策。

山内エコクラブ：公民館にて準備

9:30

一般受付（山内学区の一般、山上小学校）

9:40

オリエンテーション：山内公民館

司会：竜王みやび（山内エコクラブ）

３小学校（山内、永源寺山上、糸満）子供２８名を５グループに分けて自己紹介。スタッフ全員も自己紹介。井阪尚司氏が交流事業の説明。「子供達自身が自らどのような子供になりたいのか？そして、そのためには、何をすべきか？」という目標を持たせた。

10:00（郷土料理作り）

やまえこの子供達がどうかん団子つくり（いばら餅）の作り方を説明してもらい、大人がオブザーバーになり、団子作りを体験しました。

材料：中力粉（小麦粉）500ｇ　　塩　　小さじ１

熱湯　700ｇ～800ｇ

片栗粉　打ち粉　　小豆　400ｇ

作り方

①粉と塩を混ぜる

②熱湯を少しずつ入れ、木じゃくしで混ぜていく

③②をれんげでつぶしたり、たたいたりする（15 分）

④③の半分をまな板の上に片栗粉を引き、棒状にして団子の大きさに切る

⑤小豆を入れて包む

⑥イバラの葉 2 枚で包む
⑦蒸し器で 10 分蒸す
⑧木の盆で冷ます

12：00　　市場公民館に徒歩にて歩行
（ちらしずし、すまし汁、きゅうりのぬか漬け、ゼンマイ、筍の佃煮）

13:00　　山内村探検
5 つのグループに分かれて、村のお年寄り（名人）から、昔と今の暮らしぶりの違いを聞き取りしました。これから先の村の未来像を聞き取りしました。

1 班：野尻清　　氏（市場）
2 班：落合　道夫　氏（川西）
3 班：杉本　庄治　氏（黒滝）
4 班：岡田　弘次　氏（上の平）
5 班：八夫　くに　氏（笹路）

15：00（山内公民館）
井阪氏より、探検のまとめの説明を聞き、グループに分かれて聞き取り内容を模造紙にまとめをしました。

16：30　　入浴
ダイヤモンド滋賀　やっぽんぽんの湯へ送迎
17：30　　夕食
おにぎり、肉じゃが、サラダ
食事ボランティア　お結びの会

18：15　夕涼みコンサート（司会：山下　英隆氏）
Ⅰ．歓迎のあいさつ(山内エコクラブ　　竜王)
Ⅱ．歓迎メッセージ(甲賀市長メッセージ　　藤田土山支所長代読)
Ⅲ．ハンドベル（ふらんしーず）
Ⅳ．和太鼓　　六友会

甲賀市長メッセージ

⑤山内探検の発表（各グループ）

1 班（市場地区：野尻さんに聞き取り）

①昔の良かった所は、自然がいっぱいで色々な工夫をして暮らしてきた。

②動物を飼っていたのは、それぞれ以下の理由による。

豚：食べるために飼っていた。

山羊：乳を採るために飼っていた。

にわとり：食用のために、飼っていた。

牛：農機具のかわりとして使っていた。

③どのような村になってほしいか？私達の（1 部）のアイデアとしては、次のようなことを考えました。

電気をあまり使わない

おじいちゃんやおばあちゃんの手伝いをする

昔の良いところを真似する

自然（山・川・銀杏の木）を残していく

昔の自然を活かして、豊かな村にする。

2 班（川西地区：落合氏に聞き取りしたこと）

①「今」の山内について聞き取りをいたことは、次の通り。

昔いた生き物が少しずつ減っている。

お年寄りの人が増えている。

電気も水もちゃんとある。

今飼っている生き物は、犬や猫ぐらい。

②「山内の未来はどうなってほしいですか？」との問いには、次のように答えてくださいました。

今より自然が沢山増えてほしい。

昔の村に戻ってほしい

昔みたいに水がきれいになってほしい

3 班（黒滝地区：杉本さんに聞き取りしたこと）

①山内の「過去」について、次のように答えてくださいました。

昔は、家で食べる分だけ、お米を作っていた。

牛が畑を耕し、糞は肥料にいていた。

川には、鮎や琵琶ますがいて、田んぼにドジョウがいた。

炭を焼いて売っていた。

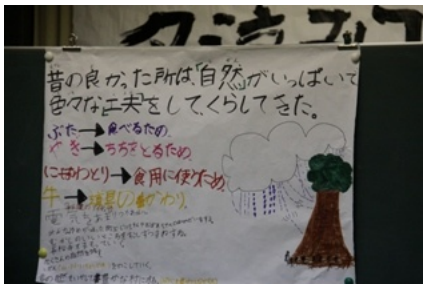
②山内の「今」について、次のように答えてくださいました。

黒滝の人口は 80 人

今は、山に入る日は決まっている。

お年寄りが増えているけど、祭りなどには若い者が帰って来てくれる

③山内の「未来」は、次のようになってほしい
若い人が、働いているときは外に出ていても、年をとってからは、帰ってきてもらえるようになってほしい。
　よその人が何度も来てくれる土地であってほしい



4班（上の平地区：岡田さんに聞き取りしたこと）
①山内の過去
トイレはポットン
家の戸数は、８～１０戸
川の生き物は、鮎、うなぎ、カワウソ等がいました。
食べ物は、お餅、あられ、芋団子、栗。
遊びは、メンコ・竹トンボ、エスケン、ニクダン等
履物は、わらぞうり。

記念撮影

②山内の今
過疎化が進んでいるので、若い子に来てほしい。
家族が宝物。
いろいろなところから子供が来てほしい。
施設を建てて、子供を増やしたい。
病気を治す神様がおられ、その名前は薬師堂という。
③山内の未来
若い人がいる山内
明るく楽しい山内
一年中笑いが絶えない山内
喧嘩がない山内
魚を増やす努力をする山内
以前が多い山内

山上小学校　　3年生

５班（笹路地区：八夫さんに聞き取りしたこと）
①質問：移動手段で変わってきた子おはどんなところですか
　答え：昔は歩き、今はバス、そして電車（ここは通らないけど）に代わってきた
②質問：大切にされているものは何ですか？
　答え：昔からある大黒柱、大切な家の支え
③質問：山内を元気にするにはづしたらいですか？
　答え：家族と一緒に暮らすこと。老後は、年金で暮らしていけること。地域の人と話し合って、協力しながら明るい未来を作ってほしい。

Ｖ．各地域ごとの発表

①山上小学校３年生
　平成２４年６月２５日から自分達（山上小学校）の蚕を育て研究したことを発表してもらいました。

②米須あすなろ会
沖縄の地名や言葉の紹介をパネルをみせながら、発表がありました。

米須の子ども

③山内エコクラブ
ジャンボ絵本「鈴鹿物語　　水をつなぐ山内の龍王」
３年前のメンバーが地域の人に聞き取った水文化からの学びを仕掛け絵本として作ったものを久々披露
　エコクラブＯＢが集結してくれました。

Ⅵ．コメント
①崎山正美氏（元糸満市政策推進室課長）
山内探検の発表は、絵を取り入れて工夫されておりおもしろかったし、素晴らしかった。
山内エコクラブがやっている「聞き取り調査」を“聞き書き”というが、糸満市でも「旧暦文化を記録する会」を立ち上げて、お年寄りに対して「聞き書き」を行っている。
私達団塊の世代も、なんとなく昔の事は分かるけど、正確には知らない。親世代の生きてきた時代を次世代に伝えていくことが大事だと考えています。これから、子供だけでなく、私達もいていく必要があるでしょう。

崎山氏

③金井萬造氏(立命館大学　経済学部教授)
　地域にある資源に対して知恵を出し合って、次の世代に繋げていくことが大事。３つの小学校の子がグループに分かれて、調べ物をしてまた、それを協力して発見・発表できたことは素晴らしかった。

金井教授

Ⅶ．ゲーム「４人の博士」

Ⅷ．米須エイサー
「米須あすなろ会」の６人がエイサーを披露しました。最後は、会場にいる皆でカチャシーを踊りました。
Ⅸ．終わりの挨拶(森繁樹さん　やまえこスタッフ)

21:30 (宿舎へ移動し、自由交流)
　男子：上の平公民館
　女子：市場公民館
22:00　　就寝

平成２４年７月２２日(日)　曇り、雨、晴れ
8:30　　日程説明　　井阪氏
9:00　　田んぼの観察、
　　生き物みっけファームの説明(竜王みやび・森繁樹)

どろんこサッカー、田んぼでの宝探し、
川でのニジマスとり
簡易シャワーにて体を洗う

12:30　　山内公民館にて昼食
(カレーライス・ヨーグルトサラダ)
　　食事ボランティア　お結びの会

14：00　　焼き杉体験(指導：馬場正光氏)
　作り方
　①動物などの材料を選ぶ。(事前に動物など模った木を準備しておりました。)
　②手袋をはめ(左手)ヤスリで表面の角を削る
　③そこに金具をつける
　④ひもを通す

　⑤目玉にボンドを少しつけ限定

15：00　寄せ書き、看板作り　　説明　　森　繁樹(やまえこスタッフ)

16：00　　解散式　　みんなのいい所を誉め合おう
　　一般の子供解散(山上小学校、山内小学校児童解散)

17：00　入浴　　ダイヤモンド滋賀へ

18：30　　夕食(上の平公民館)
　　ご飯、かきあげ、ヒレカツ、なすびの田楽味噌、漬物、ういろう、
　　食事ボランティア　お結びの会

20：00　昔話を聞く
　近くに住んでいる鍋家渡支雄さん宅にお邪魔しお話をしていただきました。
130 年前に建てられた家で、お話の時には雰囲気を出すために、囲炉裏とろうそくの火のみにされていました。子供達は怖がっていましたが、周りを暗くして火を見ながら話をすると人は集中できるとのことです。①ヒヌカン(沖縄県)、カグツチ(山内)、プロメテウス(ギリシャ神話)の 3 つどれをとっても火の神です。②食べ物を食べるときには、「いただきます」というが、何に対して言っているのか？人間はすべて生き物(植物・動物)を食べている。それで命をつないでいる。だから命に対して「いただきます」ということにしましょう。食べ物を残すことは、命を無駄にしていることになる。昔は、残したものを捨てずに、家畜などに与えて、それを「納める」とも言った。命は命でつなぐので、食べ物を大切にすることを学びました。箱膳の話も出ました。

③今は、田んぼ(川の上)に杉の木があるが、昔は無かった。林業で杉の木が重要であり、田んぼをつぶして杉の木を植えた。今は、猪・鹿・猿の害に遭っている。また川の水はきれいであるが、プランクトンが少ない。だから川や田んぼに生き物が減った。
④山てんぐの話
お話をいただいた鍋家氏は、沖縄には何度も行っておられ、米須地区の場所もご存じで盛り上がっていました。

21：30　　上の平公民館に移動し、自由交流
22：00　　就寝(子供達もすぐに寝ました)

平成 24 年 7 月 23 日(月)

6：30　　地域の子供とラジオ体操
　　水生昆虫の観察

7：30　　朝食(セルフサンドウィッチ。ジュース)
　　子ども達も調理をお手伝い
　　後片付け

9：00　　上の平公民館出発(バスにて)
　　山内公民館にて挨拶

10：30　　琵琶湖博物館到着
　　自由時間(企画展)

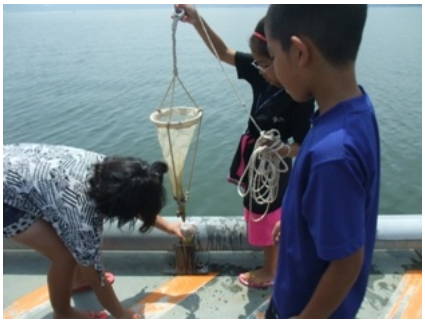
12：00　　昼食

13：00　　プランクトン観察

14：10　　草津駅に移動

14：40　　草津駅にて見送る

16:00　　山内公民館に到着解散



【参加者】

山内エコクラブ子ども　6 人

山内小学校の子ども　8 人

糸満市米須地区の子ども 6 人

永源寺　　山上小学校 3 年生　10 人　　計 30 人　　プラスアルファ

★スタッフ

山内エコクラブ(森繁樹、山下英隆、野尻悟司、安村将之、井阪尚司、岡田弘次、谷川重喜
竜王みゆき、竜王真紀) 、保護者さん

糸満市米須あすなろ会　　6 人の子どもと保護者 2 人、市役所大城係長

写真ボランティア　　馬場　日出男氏

見守りボランティア　　松岡　勝男氏　　林口　富夫氏

山内市民センター　　谷　綾子氏　　森口氏

お料理ボランティア(名人グループ)　　ツタエ G：　6 人　　お結びの会：19 人

どろんこボランティア　　川西区有志 6 人

聞き取り協力者　地域の方(山内名人)6 人

山内地区の多くの皆様

★ゲスト

元糸満市政策推進室課長　　崎山　正美　氏

立命館大学経済学部教授　　金井　萬造　氏

ハンドベルふらんしーず、　　山内和太鼓　六友会

★オブザーバー参加

朝日放送　がんばれ元気っズスタッフ 4 人

その他　崎山氏の仲間 3 人、藤井亜希子(取材)

甲賀市役所コミュニティイ推進室　　呉竹室長、清水課長補佐

甲賀市役所　土山支所長　藤田雅典　氏(市長メッセージ代読)

文責　　竜王真紀